

フリーコメントの扱いに困っていませんか？

「フリーコメント」を画像にしてデータ化、結果帳票に自動でフィードバック！

カスタマイズの一例（別途費用） 自由記述欄を画像化して印刷できます！

ソフトを画像読み取り対応にカスタマイズし、OMR「SR-3500HYBRID EX」または「SR-6500HYBRID」でマークシートを読み取れば、自由記述欄に書かれたフリーコメントを画像データにして印刷できます。1回の読み取りだけでマーク欄と自由記述欄を同時にデータ化できます。フリーコメントをテキストデータに起こす入力作業などは一切不要です。

科目別自由記述一覧表（※）

2014年度 科目別自由記述一覧表		実施日：2014/07/01
科目名：歴史文化学 担当教員名：教育太郎		履修者数：20名 記述数：12名
写真やスライドなどの資料をもっと取り入れてほしい。	写真やスライドなどの資料をもっと取り入れてほしい。	一年間ありがとうございました。
写真やスライドなどの資料をもっと取り入れてほしい。	写真やスライドなどの資料をもっと取り入れてほしい。	写真やスライドなどの資料をもっと取り入れてほしい。
写真やスライドなどの資料をもっと取り入れてほしい。	写真やスライドなどの資料をもっと取り入れてほしい。	写真やスライドなどの資料をもっと取り入れてほしい。

画像データにしたフリーコメントを「自動で」結果帳票にレイアウト！



ご注意

※「科目別自由記述一覧表」を利用するためには以下の環境が必要です。

OMR	SR-3500HYBRID EX / SR-6500HYBRID（画像読み取り対応機種であること）
マークシート	特注品マークシート（自由記述欄が設置されていること）
ソフト	まるごと授業アンケート（特注品マークシート仕様にカスタマイズされていること）

画像読み取り対応

OPTICAL MARK READER SR-3500HYBRID EX OPTICAL MARK READER SR-6500HYBRID

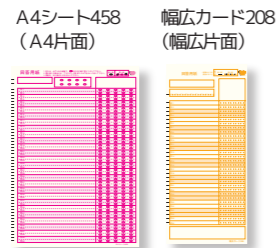
マークシート（別売）

すぐに使える既製品

質問文が入られるアンケート回答用マークシートです。質問文は任意の質問文を印字することが可能です。

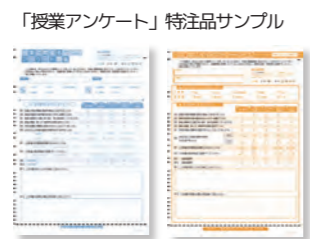
※ 印字用Wordデータは、弊社サイトより無料でダウンロードできます。

※ A4シート458は50問、幅広カード208は30問まで回答を記入できますが、標準仕様の「まるごと授業アンケート」で読み取りできる設問数は、上部25問までです。



オーダーメイドの特注品

ソフトをカスタマイズすることで、特注品マークシートを利用することもできます。科目別に色分けしたり、自由記述欄を多く設けるなど、お客様のご要望に沿ったアンケートが可能になります。



必要なシステム構成

- OS** Windows 11
エクセル出力にはMicrosoft Excelが必要です。
- PC** 上記OSが正常に動作する機種
- RAM** RAM：512MB以上（1GB以上を推奨）
- HDD** 500MB以上の空き容量
※空き容量にデータ保存用の容量は含まれません。
- ソフト** まるごと授業アンケート（本製品）
- ▼ **マークシートを使用する場合**
- OMR** 対応機種のご確認・ご購入は、お問い合わせください。
- マークシート** 既製品マークシート（A4シート458/幅広カード208）
【特注品マークシートをご利用の場合】
特注品マークシートを読み取るには、ソフトのカスタマイズ（別途費用）もしくは、汎用読み取りソフト「まるごと君21」/「まるごと君クロス21」との運用が必須です。

●標準価格

定価 382,800円（税抜）

Microsoft, MS, Windows, は米国Microsoft Corporationの米国その他の国における登録商標または商標です。

●改良などにより記載の内容は予告なく変更する場合があります。

詳しくはWEBで www.kyoikusw.co.jp

株式会社 教育ソフトウェア
〒192-0081 東京都八王子市横山町10番6号

●システムソリューション部（直通）
042-649-9600
●ファックス、メールで
042-649-9601
info@kyoikusw.co.jp

このカタログの内容は2026年4月現在のものです。

教育ソフトウェアでは技術者はもちろんのこと、営業に携わる全ての社員がIPA(独立行政法人情報処理推進機構)主催の情報処理技術者試験の有資格者です。システムの事なら安心してお任せください。

「授業アンケート」読み取り&集計ソフト

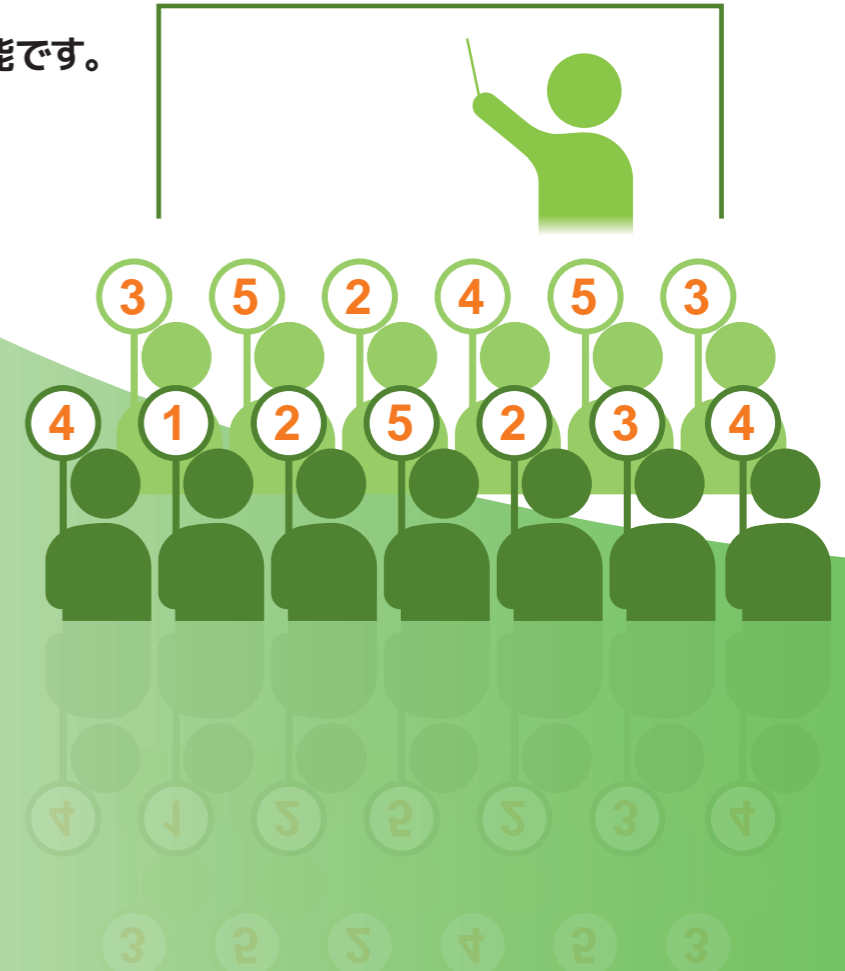
マークシート・OMR用

学校の社会的な役割と教育改善
貴校でやさしく集計できる操作性を実現

まるごと 授業アンケート

For Windows

このソフト1本で
『読み取り』と『集計』が可能です。



株式会社 教育ソフトウェア



『まるごと授業アンケート』は、学生による授業アンケート専用の読み取り&集計ソフトウェアです。

「授業科目ひとつひとつの質の向上」が授業アンケートの最大の目的であると私たちは考えます。

※OMR機器に接続してマークシートを読み取る機能もついております。



まるごと授業アンケートでできること

「まるごと授業アンケート」は、かんたん操作と見やすい集計表示が最大の特長です。授業科目ごとに集計を行い、4つの帳票を出力することができます。

point 1. かんたん超高速集計！ 「かんたん」操作にこだわりました

「まるごと授業アンケート」は、OMRとマークシートの組み合わせで、効率的な運用を実現します。

既製品マークシート（幅広カード208/A4シート458）を利用する場合 25問までのアンケート読み取りと集計なら、このソフト1本でOK！



幅広カード208 (幅広片面) A4シート458 (A4片面) マークシート読み取りと同時に回答をデータ化
既製品マークシートは、30問用または50問用をご利用ください。
※「まるごと授業アンケート」は、既製品マークシート（幅広カード208/A4シート458）の設問上部から25問までの回答のみを読み取り集計します。

特注品マークシートを利用する場合 特注品マークシートや26問以上の読み取りと集計なら、ソフトをカスタマイズ（別途費用）するだけでOK！



特注品マークシート マークシート読み取りと同時に回答をデータ化
OMRでマークシートを読み取り 「まるごと授業アンケート」を特注品マークシート用にカスタマイズして集計
カスタマイズ
※既製品（A4シート458/幅広カード208）以外のマークシートを読み取る場合にはソフトのカスタマイズ（別途費用）が必要です。もしくは、汎用読み取りソフト（別売）の「まるごと君21」または「まるごと君クロス21」でマークシートを読み取る必要があります。

point 2. 結果を直接Excelファイルに出力できる！ 「結果はExcelで下さい」…こんな先生の声にお答えしました

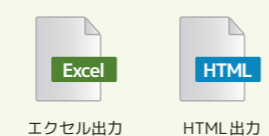
授業アンケートの処理はとても労力を要します。だからこそ、その結果は有効に使いたい。そこで出力データ形式を用途に合わせてExcel/HTMLから選択できるようにしました。メールでのやり取り、ちょっとした色の変更など先生方のご要望にお応えします。

「結果帳票」のデータ出力形式



用途に合わせた形式で結果帳票を出力

加工なら… WEBなら…



エクセル出力 HTML出力

様々な角度からの分析を可能にします！

point 3. 的確で判断しやすい集計表示！ 「効果」をチェックできる

種類豊富な出力帳票は、集計されたデータ管理を容易にし、さまざまな角度からの分析を可能にします。

全授業科目と属する学部や学科平均との比較ができます。その場合は、予め当該授業科目が属する「学部」や「学科」を登録する必要があります。

科目別各回答率分布表

質問項目ごとに選択肢の回答数及び回答率、評定平均を表示します。

※ 選択肢の内容は、質問項目ごとに設定が可能です。
※ 選択肢の数は、最大で5肢までとなります。

科目別各回答率分布表（帯グラフ付）

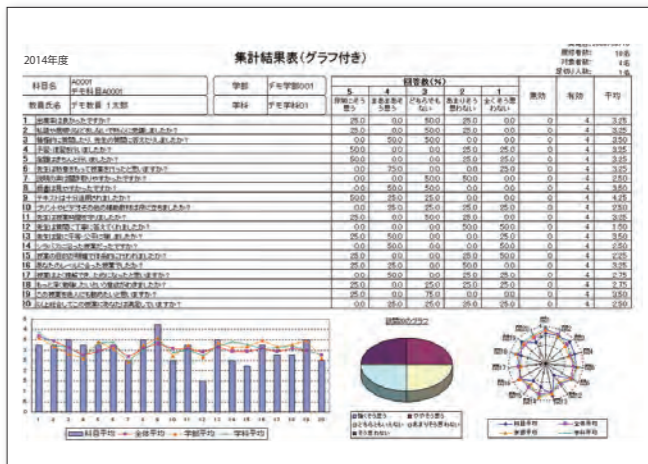
科目別各回答率分布表の回答数と回答率の部分を帯グラフで表示します。質問項目ごとに回答数（率）の増減が一目瞭然です。

※ 回答数が多かった選択肢箇所を、色付けています。

評定平均一覧表

担当教員ごとに評定平均値の一覧を表示します。縦軸には、担当教員とその授業科目名、横軸には、質問項目を表示します。担当教員ごとに同じ質問項目に対してだけの評定平均かをみることができます。

集計結果表（グラフ付）



回答率分布表といっしょに棒グラフ、円グラフ、レーダーチャートを表示します。

棒グラフ

棒グラフで当該授業科目の質問項目ごとの評定平均を表示します。さらに、折れ線グラフで当該授業科目が属する学部や学科の質問項目ごとの評定平均を表示させることができます。当該授業科目に対する回答傾向が、学部や学部全体と比べてどのような傾向にあるか判断できます。

※ 折れ線グラフは、お客様で抽出条件の設定が可能です。

円グラフ

総合的満足度など、特定の質問項目の回答内容を円グラフで表示することができます。質問項目全体の中でも、特にキーとなる質問を円グラフ化することで、当該授業科目への評価を判定することができます。

レーダーチャート

チェックボックスで選択した質問項目を基準に、レーダーチャートを表示できます。質問番号に対して昇順に表示します。

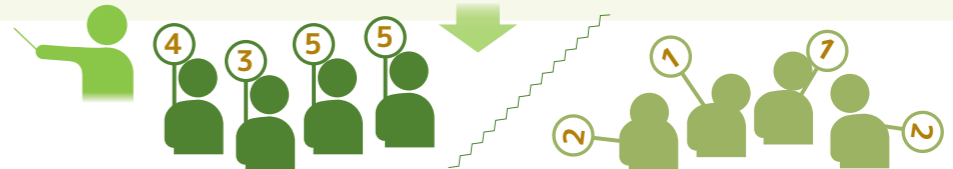
※ レーダーチャートは、最低3つ以上の質問項目を選択してください。

point 4. 一定の基準に達していない回答は、「母集団設定」ができる！ 「まじめに学ぼうとしている生徒」の声を拾う

授業評価で大切なことは、学生のみならず自身にも授業に対する関わり意識を持っていただくことです。「まじめに学ぼうとしている姿勢」「教員を信頼している」などの事柄は、授業アンケートが正常に行われるための前提条件といえます。このような一定の基準（母集団対象設問）を設け、それらの基準に達していない回答は、当該授業科目の母集団に含めず、集計を行うことが可能です。

例えば・・・
出席率と勉強時間で基準を設ける場合は、母集団対象設問Q1（出席割合）及びQ2（予習・復習）とし、母集団に含めない選択肢を「2」及び「1」とする

- Q1：この授業科目に対する出席割合はどれくらいですか？
選択肢 … ⑤ 100-90% ④ 89-80% ③ 79-70% ② 69-60% ① 59%以下
- Q2：この授業科目に当てた予習・復習の平均時間はどれくらいですか？
選択肢 … ⑤ 4時間以上 ④ 3-4時間 ③ 2-3時間 ② 1-2時間 ① 1時間未満



※ 母集団対象設問及び母集団に含めない選択肢は、複数選択が可能です。

この場合・・・
・ Q1で出席割合が70%未満（選択肢「2」と「1」を選択）の場合は、母集団に含めません。
・ Q2で予習・復習の勉強時間が2時間未満（選択肢「2」「1」を選択）の場合は、母集団に含めません。